

金剛市長に対する問責決議

6月25日に行われた農業委員選任同意案件において、12名中1名が不同意とされました。これは議会としての正当な意思の表れであり、手続きに瑕疵はありません。市長は、この議決を真摯に受け入れ、直ちに適切な対応を行っていただければ、今回のような農業委員会未開催の事態は回避できたことは、他の市町村の類似事例からも明らかです。

しかし、市長は個々の議員の否決理由を人権侵害問題に歪曲し、新たな中立委員を提案できない理由としている上、市のホームページ等で議会に責任があるかのような一方的な発信を行っていますが、議会には一切、農業委員選考の権限と責任はありません。本議会としては、これらの状況を踏まえ、農業委員会問題の早期解決とホームページ等での一方的な発信の削除を求め、9月5日に「農業委員会の早期正常化を求める決議」の議決を行いました。

その後、市長は議決に対する返答や早期解決に向けた動きを行わず、一般質問では従来意見を繰り返すのみです。今回の議決は議会の総意であり、この市長の対応はまさに議会軽視と言わざるを得ません。この一連の市長の行為は、多くの関係者に実害を及ぼし、市民の市政への信頼を損なうものであるため、本議会は市長に対し、農業委員会問題の早期解決を再度強く求め、猛省を促すとともに、その責任を厳しく問う決議を行います。

2024年9月25日

宇陀市議会